

論文要旨

学位論文題目 「日本語学習者の読解における要点関係図作成の効果に関する研究」

氏名 田川 麻央

本研究は、第二言語（以下、L2 と記す）学習者の読解において、要点関係図を作成するストラテジーが首尾一貫した文章表象（以下、表象と記す）の構築に及ぼす効果を実験的に検証することを目的とした。対象者は中国語を母語とする日本語中級及び上級学習者で、要点関係図とは、文章中の要点どうし
の関係を図に表したものである。

読解では文章の要点とそれ以外の詳細情報を区別し、要点と要点、要点と詳細情報を関係づけた首尾一貫した表象を構築することが目標とされる。L2 学習者は言語処理に多くの認知資源を費やすため、情報間を関係づけていくなどの文章の処理と保持に回す認知資源が制約される。また、L2 習熟度の低い中級学習者は、母語話者と比べて要点及び詳細情報を関係づけて把握することが難しく、上級学習者でも詳細情報を把握するのが困難であることも報告されている。図作成ストラテジーに関わる L2 読解研究では、首尾一貫した表象の構築への効果、要点探索と情報の関係探索（以下、関係探索と記す）との関わり、L2 習熟度、作成された図の特徴などが十分に考慮されていない。これらを踏まえて本研究では、要点関係図作成の効果を検証した。

材料は、396 字の因果型の説明文である。要点探索と関係探索に焦点を当てるために、要点関係図作成群には、文章とともに、文章をアイデアユニットの単位で示したリストを与えた。協力者は、リスト中から要点と思うものを選択して付箋紙に記入し、それを白紙に配置して相互に関係づけた要点関係図を作成した。課題は筆記自由再生である。研究 1, 2, 4 の協力者の構築した表象の分析は、再生プロトコル中の要点、詳細情報、推論を指標とした。研究 3 では、要点関係図作成群が作成した図中の要点の量的な正確さ、選択された要点への因果関係の関与、要点の関係づけ方を指標に分析した。本論文は以上の 4 つの研究から構成される。

研究 1 では、要点関係図作成における要点探索及び関係探索が首尾一貫した表象の構築への効果にどう関わっているかを明らかにするために、要点探索と関係探索の有無の組み合わせによる 4 つの読み条件を設定し、中級学習者を対象に検証した。その結果、要点探索により要点の保持と推論が促進され、要点探索と関係探索によって詳細情報の保持が促進されることが示された。このことから、中級学習者は要点探索と関係探索によって促される効果は異なるが、総合的に要点関係図作成によって首尾一貫した表象の構築が促進されることが明らかとなった。

研究 2 では、要点関係図作成の効果に L2 習熟度がどう関わっているかを明らかにするために、効果が上級学習者にもあるかどうか、及び要点関係図作成によって中級学習者の表象が上級学習者の表象に近づくかどうか検証した。まず、上級学習者は要点の保持が促進される傾向があったが、詳細情報と推

論の効果は認められなかった。次に、L2 習熟度と要点関係図作成の有無による読み条件を組み合わせで検討した結果、要点関係図作成によって中級学習者は要点と詳細情報の保持で上級学習者と差があったが、推論は上級学習者と並ぶことが確認された。このことから、上級学習者においても要点関係図作成によって首尾一貫した表象の構築が促進される可能性、及び要点関係図作成によって中級学習者の表象は上級学習者の表象に近づく可能性が示唆された。

研究 3 では、L2 習熟度が作成する要点関係図にどう関わっているかを明らかにするために、中級学習者と上級学習者の作成した要点関係図を分析した。その結果、要点の量的な正確さには L2 習熟度による差はなかったが、要点の因果関係への関与及び要点の関係づけ方には L2 習熟度による差が確認され、L2 習熟度によって作成する要点関係図は異なっていた。これらのことより、読解過程での要点関係図作成において、上級学習者は中級学習者よりも要点探索と関係探索がより相互に関わっていることが明らかとなった。

研究 4 では、どのような要点関係図を作成すれば、首尾一貫した表象の構築が促進されるかを明らかにするために、L2 習熟度と、作成された要点関係図における要点の関係づけ方（上位・下位）の 2 要因によって検証した。その結果、L2 習熟度に関わりなく、多くの要点を論理的に関係づけることによって要点の保持がより一層促進されるが、詳細情報の保持、推論が促進される効果は認められなかった。このことから、要点を論理的に関係づけることで首尾一貫した表象の構築が高まるが、単に要点関係図作成を行うよう指示するだけではその効果は限定的なものになり、いかに要点探索を促すかに焦点を当てて要点関係図作成を指導するかが重要であると指摘した。

本研究の意義は、要点関係図作成の首尾一貫した表象の構築への有効性とその限界点とともに、中級学習者と上級学習者の読解過程における要点関係図作成での要点探索と関係探索の関わりについて明らかにしたことである。